

1. 同調

再度強調しますが、人間にはそうとわかっていても、合理的に判断できないことがあります。同調もその一つです。ただ、同調である、ということを知っておくことは必要です。いつの間にか被験者になっている、は、日本の法律もゆるいので、いつもですよ。Google、Apple、Facebook、Amazon (GAFA) などに集計されています。

同調実験の動画では集団の人数が増えるほど同調の確率が上がることが分かりました。社会・集団心理学でも先週、集団で討議しても必ずしも妥当で公正な結論が見られるわけではないということを学びました。だからこそ少数意見に耳を傾けることや集団思考にならないための雰囲気づくりが大事なんだと改めて感じました。先週学んだ選択というのも自分が集団の圧に飲まれないための手段の一つだと思います。そして正しい選択をできるようにするためには学ぶことが必要なんだと分かりました。

自分は同調効果にとっても影響受けやすい人だと思っている。多くの人が「?だ」というのであれば、もしかしたら自分が間違っているのかも自分の意見に対して否定的に考えることが多いからだ。一人でも反対がいてくれると嬉しいがそれでも同調してしまうと思う。

授業の最初に取り扱った動画を見たとき、私も自分の答えが正しいと信じていても周りの人々が別の意見を述べていると、自分の意見に自信を持つことができなくなることが多々あり、(中略)このような身近に起きそうなことを実験している人達を見ていると、私達の周りのにも、このような実験をしていて私が対象になっているのでは?とたまに考えてしまうことがあります。

2. ジャムと選択

**他の授業で学んだことと結び付けられて素晴らしい！
この実験については、試食の話ですよ！
PROS and CONS については、後ほど。**

ジャムの実験について、以前心理学の授業で学んだことがあります。選択肢が多いと、興味は惹かれるけど決定するのは難しくなりやすいというような実験だったと思いました。

ジャムの実験についてですが、種類が多いほど立ち寄る人は多いが買う人が少ないという結果に驚きました。(中略)本当にジャムが好きで気合を入れて買い物に来ているようならば見るだけで買わずに帰るといったことはないだろうと思いました。

PROS and CONSのリストはやってみたいと思った。今までデメリットに重点を置いて考えることが多かったから、いいところも見て自分にとって何が大事、重要なのかを確かめていきたい。

3. 爆発的な数の増加

ねずみ算の増加の様子は、想定外に大きいと思ったのではないのでしょうか。

紙を25回おると富士山の高さになるのが印象に残っています。九回以上折れないというのは知っていて、試しに折ったこともあります。

ネズミ算は何回か聞いたことあるものだ。だが、折り紙を42回折るだけで月に届くのは驚いた。このネズミ算がこんなに恐ろしいものだということに気づいた。

小学生の頃に、1日2倍ずつお金が増えるとして1円からスタートしたら、1週間後はいくら？のような問題を計算したことがあります、大変なことになるなと思いました。

組み合わせ爆発は、より速い速度で増大します。

ところで、このビデオのポイントは、そんなに大変なはずの計算が既にできている、ということです。そうした知見は、ねずみ算的な増加をコントロールする際に、将来的に役立つ可能性があります。

組合せ爆発を説明するお姉さんの動画はその狂気性から前に見たことがありました。

組合せ爆発の動画はなんか見たことあるなと思いました 確か暇な時に偶然youtubeで見つけたんだと思います、衝撃的でした。

「お姉さんといっしょ」の動画の10×10の時の通り方が何通りか求める計算がスーパーコンピュータでは、25万年かかるというのが、とても驚きで、数字の爆発的な増加は恐ろしいなと思いました。

4. 友達の……

世間が狭く思った、日本を狭く感じた、好きな芸能人とつながっていると思った、わくわくした、みんなつながっていると思った、日本で一人と思うと強みになった…そんな思いを持ってもらいたいとお話しました！

今回の友達の友達という授業が一番気になっていたのも興味深かったです。知り合いの知り合いぐらいだと、自分の知り合いと被かぶってしまいうまく日本の人口にはならないとは思いますが、知り合いの知り合い…というのを数回やっていけば自分の好きな芸能人に繋がるのかなと思いました。そうなるも夢あるなと思いました。

友達の友達の友達では広げていくとみんな友達（知り合い）となっていて、世間が狭いという言葉はこういう理屈なのかなと思いました。大学では友達の友達が友達だったなんてことがよくあります。

今回の授業では特に、知り合いの知り合いを経由していくことで三回目には日本の人口に迫る人数と知り合うことができるという話が印象に残っている。(中略)会ったことのない日本人も含めて、不思議と日本が狭く感じた。

友だちの友だちの友だちという授業タイトルをシラバスで見たときからこの授業を楽しみにしていたので、すごくわくわくしながら今日の講義を聞かせていただきました。母方の祖父は7人兄弟で、母にはいとこが20人以上いるようです。また、私にはアメリカや台湾、オーストラリアやブラジルなど海外の友だちも比較的多いので、私の知り合いというのはその時点でもものすごく多い気がします。またさらにその友達の友だち、知り合いの知り合いなど、あつという間に地球上の人口を上回るような数になりそうだと、先生の説明と照らし合わせて色々と考えていました。明日から、町を歩いていてすれ違う人を見るだけで、もしかしたらいますれ違ったこの人も知り合いの知り合いなんじゃないか考えるようになってしまいました。初対面の人でも、この人はどこかでつながっている人なのかもと思うだけで、なんだか私の人見知りもなくなりそうな気がしました笑とても興味深い内容の授業でした。

知り合いの知り合い。。。と探っていくことで会いたい人を見つけるとしたら、有名人の方とかもそんなに遠い存在ではなかったのかもしれないと感じた。自分は多くの国に行く機会があったため、いろんな国でいろんな人に出会える可能性が増えたのかもしれない。どうにかして活用してみたい。

500人に一人の特技を3つもつと日本で一人の人材になれるのは、生きていく上でも強みになると思うので、自分にもできることを探してみようと思います！

残念ながら、逆に思ってしまったケースもありました！

私にはとってもとっても好きな芸能人がいます。そして先日、私の友達の友達がその芸能人と同級生だったという話が舞い込んできたのです！私とその人と直接関係はありませんが、間に2人しかいないという数字に囚われてとても喜んでいました。ですが今回の授業で大した確率ではないのだと知りショックを受けてしまいました。

まさに、6次の隔たり、スモールワールド現象などと呼ばれる話と関連があります！

友達の友達の話をしているときに「六次の隔たり」説を思い出した。

5. フィードバック

技術も科学も一つではなく、技術も様々、科学も様々です。だから、私には、どちらが先とも言えません。しかし、今は、それが、がっちりと組み合わせさせて誰にも止められない勢いで進歩していることは、改めて強調しておきます。

科学と技術で最初に発達したのはどちらだろうか。

フィードバックは良い循環の時とはことんよくなるが、悪いときはことん悪くなってしまうので、日常で起こった時には良い側に入ったときはいいが、悪い側に入ったときや良い側の敵となってしまったときに理不尽さを感じることもある。

経済の話は、経済関係の授業があるので、ぜひ、そこで学んでください！日本は、デフレから完全には脱却できていません。

ところで、こんな商売はどうでしょうか。友達の…を応用した商売です。皆さんは私に1万円を納めます。皆さんは友達から1万円を納めてもらいます。その友達は、その友だちから、1万円を納めてもらいます。皆さんが支払うのは1万円だけで、受け取るのは（友達が500人だとして）、500万円です！

もちろん、これは禁止されています。「無限連鎖講の防止に関する法律」参照。

物価が高くなることは悪いことばかりだと感じていました。

フィードバックでデフレスパイラルや講義の悪循環の話で、あのサイクルは一度はまってしまったら第三者からの影響を受けない限り抜けられないものなのかなと思った。そしてこのようなサイクルを仕組みとして商売をする業態もあるのかなと思った。

金属の針を束ねて、上から見ると真っ黒に見えます。金属が、どんなにピカピカしていても、反射率は100%ではないからです。それを繰り返すと光は全部吸収されてしまいます。防音室も似たような仕組みがあるはずです。いいところに気づきました！

負のフィードバックの話の時に防音室はこれを使っているのではないかと考えた。

ありがとうございます！皆さんから力をもらって私も頑張ります！

皆さんも、他の授業でも心がけてみましょう！

オンライン授業だとどうしても先生も私たちもやる気が途切れてしまうと思いますが、先生はリアクションペーパーに丁寧にコメントをくださるのでいつもこの授業は楽しみにしています。

このリアクションペーパーが生徒の理解度がしっかりわかるものであり、より正のフィードバックの好循環になればよいと思います。

フィードバックの言葉の意味を知らずに今まで書いていた。次からはよい循環を意識して書くと思った。

6. 新型コロナウイルスの感染拡大

一通り、ねずみ算の怖さをお話したあとで、感染爆発（パンデミック）の話をしたので、その怖さはわかってもらえたかと思います。

実効再生産数も同じように等比数列の計算で単純なものであるなと思いました。

指数関数的に増えていくもの凄いな数になってびっくりしました。コロナの実効再生産数が1.2と0.8ではだいぶ大きな差があるなと思ったのと、少なくなる方向にも指数関数的の効果大きい。

新型コロナウイルスのねずみ算の話がとても面白かったです。一人当たりの感染者が1.2ではなく0.8になれば新規感染者は減っていくということだったので一刻も早くコロナウイルスが収束することを授業中にずっと考えていました。

コロナウイルス第三波をそこまで大事にとらえていなかったが考えを改めようと思える授業だった。

反証可能ではありませんが、どうやら、インフルエンザよりもずっと感染力が高そうですね。

コロナの感染者が増加している一方で、インフルエンザの患者数は去年の600分の1という記事を見たのでウイルス性の病気にかかる確率としては減っているのかなと思いました。

新型コロナウイルス対策については、意見が分かれているところです。受講者の意見も分かれています。状況や立場に応じて人の考えや行動が変わるのではないかと、というのは、監獄実験と結び付けて考えたのですね。

最初に政府のコロナに対する対応についてお話していた時、私も共感をしました。前よりも対策がしっかりしていないように感じています。

今日の初めに先生がコロナの政策について意見を仰っていましたが、私はどうしてもGOTOを中止すべきだ、もっと対策すべきだという人たちに賛成できません。別に命がどうでもいいとか、ただの風邪だとか言って煽りたいわけじゃありませんが、人を死に至らしめるウイルスは他にもあります。（中略）最後に、先生は緊急事態宣言の下でもこうして授業ができていますが、先生がおっしゃる通りGOTOを中止したり、まして再び緊急事態宣言を出されたらコロナで死ぬ人の何倍もの人が生活苦に陥ります。

7. 学ぶこと

とてもいい指摘です！知識や言論を「武器」と表現し、それを納める「鞘」という表現も、とてもいい例えですね。

すぐに思いつくのはSNSによる被害です。その他にもたくさんありそうです。

近年、自分が振り回しているものをナイフだと理解していない者が多いと感じる。前回の民主主義の続きのようになるが、驕りでなく正当に自身の力、影響力の大きさを自覚して行動してほしいものである。その危険性を正しく理解し、抑え、使うべき場面ではきちんと行使する。成長するにつれて鋭くなっていく武器をきちんとしまっておける鞘を作り、管理していくことこそが人生、なのではないだろうか。要するにしっかりと自分が得てきたものと向き合う、ということだ。

やや知識の使い方から離れた話になっていますね。しかし、とても重要な議論だと思います。日常生活の中では、優しい嘘も必要なことがあるでしょう。

ただ、例えば、政府のしていることについて、国民に正しい知識や事実を教えなかったらどうなるでしょうか。ナチスドイツへの第一歩です。「必ずしも」の使い分けは十分に考えなければなりません。

同様に、私たち自身がしていることを、大人になった私たちは、深く認識すべきです。例えば、私たちが食べる肉がどのようにして作られるか。間接的に私たちがしていることと考えるべきです。

知識を人を気付(←傷ですね。森)つけるために使うべきではないといていた。これに対してはそう思うが、必ずしも正しい知識、事実をすべて教えることがいいと思わない。時には真実が人を傷つける場合もある。知識があるからこそ使い方、使いどころを間違っはいけないと思う。